

Do For Others サークル説明会 - 求む。ふまじめ人間。 -

【はじめに】

2008年10月、白金学生スタッフ主催「Do For Others サークル説明会-求む。ふまじめ人間。-」を開催した。説明会のコンセプトは「自分のためだけでなく、誰かのために」「自分ひとりの力だけでなく、仲間と一緒に」である。また、本学の建学理念である「Do For Others」をサブテーマとし、固定概念に捉われない柔軟な姿勢をもつ人材を募集したいという意味で「ふまじめ人間」をキーワードとした。

今回は白金学生スタッフが展開している各プロジェクトの新メンバー募集と学生スタッフのプレゼンスキルの向上を目的とした。また活動拠点である白金校舎だけでなく、横浜校舎でも説明会を行うことで校舎に関係なく人材を募り、活動の幅を広げることも目指した。

【方法】

説明会というと教室でのプレゼン形式というイメージがあるが、今回はブース形式も取り入れた。ブース形式で行うメリットは、気軽に参加しやすい、目に付きやすい、少人数のために質問がしやすいといったことが考えられる。これは教室のプレゼンだけでは入りづらい、抵抗があるといった敷居の高さの問題を改善しようという新しい試みだった。また、春学期に開催したベンチャーサークル説明会(詳細は本書 25 ページを参照)と同様にパワーポイントによるオープニングムービー(参照 URL: <http://voluntee.meijigakuin.ac.jp/student/shirokanestaff.html>)を制作した。

【成果・今後の課題】

説明会をきっかけに各プロジェクトの活動を知り、興味を持ってくれたり、実際にプロジェクトに参加してくれた学生もいた。しかし、今回は十分な広報活動を行うことができたにもかかわらずプレゼン・ブース形式ともにあまり集客率は良いとは言えなかった。また参加者のアンケートを集計した結果、学生スタッフの活動を知らなかったという声が多く寄せられたことから、白金学生スタッフの活動の知名度の向上が今後一番の課題であるといえよう。

この説明会の企画が立ち上がったのは、白金学生スタッフの研修会(詳細は本書 26 ページを参照)の最終日であった。その時点で私はどのプロジェクトにも本格的に関わっておらず、他のスタッフの前で発表する機会がなかったために、先輩のすすめもあってこの企画の担当者に立候補し、初めて会議を運営し、企画を立案した。企画の準備段階では、何をどこからはじめればいいのかわからない状態であったが、わからないなりに、先輩方に聞いたり手伝ってもらったりして企画を進めていくことができた。

この説明会の開催を通して、私は企画立案から司会進行、先輩の代理としてプレゼンをする等、様々な経験をすることができた。もちろん失敗もたくさんあったが、以前より自主的に動けるようになったように思う。そして1年生のうちからこのような経験ができたことで、今後どう活動していけばいいのか、自分なりの改善目標ができ、学生スタッフとして活動をしていくうえでの自信につながった。

(心理学部心理学科1年 本間 由香)